

## 第5学年 道徳科学習指導案

日 時 令和3年11月25日(木) 5校時  
児 童 5年1組 男19名 女8名 27名  
授 業 者 鈴木 由美子

1 主題名 みんなの力で (C よりよい学校生活, 集団生活の充実)

2 教材名 森の絵(「新・みんなの道徳 5」 学研)

3 主題設定の理由

(1) 児童について

本学級の児童は、学校行事や様々な活動において、みんなで力を合わせて活動している。運動会や陸上記録会、学習発表会においても、それぞれが自分の役割を果たし、協力し合って成功させようと一生懸命活動した。

しかし、自分が好まない活動や役割に関しては、関心が薄かったり、本気で取り組めなかったりすることがよくある。運動会の係や学習発表会の役を決めるときもそうだったが、日常のちょっとした分担に対しても希望通りいかなないとなかなかやる気が出ない様子が見られる。または、表面上は納得したようにして活動していても、よりよい活動をしようとは思っていないことがあった。自分が希望する役割になれないことは、集団生活においてよくあることである。好まない役割であっても誰かがやることになるが、その際どんな気持ちでどう行動すべきか、心の在り様を考えさせていきたい。

(2) 道徳的価値について

学習指導要領第5学年及び第6学年の内容項目「C 主として集団や社会との関わりに関すること」の「よりよい学校生活, 集団生活の充実」は、「先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること」とある。この内容項目は、次のように発展していく。

低学年	中学年	高学年	中学校
先生を敬愛し、学校の人々に親しんで学級や学校の生活を楽しくすること。	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくること。	先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合ってよりよい学級や学校をつくるとともに、様々な集団の中での自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めること。	教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくるとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。

人は社会的な存在であり、家族や学校をはじめとする様々な集団や社会に属して生活を営んでいる。集団の中で一人一人が尊重して生かされながら、主体的な参加と協力の下に集団全体が成り立ち、その質的な向上が図られる。

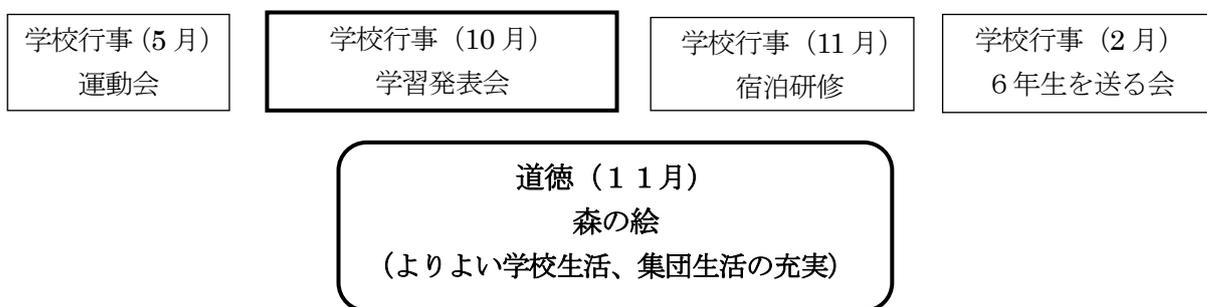
この段階の児童は高学年としての自覚をもち、学級や学校、身近な集団において、自分の立場やその集団の向上のために、自分の役割や個人の力を合わせ、チームとして取り組んでこそ達成できることを自覚して、様々な活動に積極的に参加できるようにしていくことが重要である。また、一人一人が集団の活動に積極的に参加し、集団の意義に気づき、自分の役割と責任を自覚して、充実した学校生活を構築しようと努力することが大切である。

### (3) 教材について

本教材は、学習発表会の劇において希望する女王役になれなかったえり子が、道具係として絵を描くことになったのだが、どこかやる気が出ないまま過ごしていた。そんな時、衣装係の文男が一人黙々と刺繍をしている姿に刺激されたり、めぐみが女王役以外の仕事も頑張っていることに気づいたりしながら、「誰かがやらないと劇にならない」という文男の言葉に励まされるように、やる気を出していくという話である。

投げやりになっているえり子に十分共感させながら、集団のためにどう行動したらよいかに次第に気づいていくえり子の心の変化を読み取っていきたい。学習発表会が終わったばかりのこの時期に自分たちのこととして考えていくことができる教材であり、学級の中で自分がどう行動したらよいかを考え、学級をよくしていこうという意欲を引き出すことができる教材である。

### 4 主な各教科等との関連



### 5 本時の指導

#### (1) ねらい

周りの人たちの姿を見て次第に変化していくえり子の気持ちを多面的・多角的に考えることを通して、集団のために自分の役割を果たすことの大切さに気づき、集団生活を充実させようとする心情を高める。

#### (2) 展開

階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の意図・留意点
つかむ 2分	<p>1 教材や価値への関心を高め、課題意識をもつ。</p> <p>○学習発表会を振り返り、どんな気持ちで練習や準備をしたかを振り返る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの学習発表会について振り返り、本時の学習へと方向づける。</li> </ul>
ふかめる	<p>2 教材文を読んで、話し合う。</p> <p>○えり子が、絵筆を持つ手に力が入らなかったのはどんな気持ちからだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めぐみがどんどんうまくなっているのがうれしい。</li> <li>・わたしも本当は女王役でがんばりたかった。8月の精はいやだ。</li> <li>・劇はみんなで作り上げ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・めぐみの方がふさわしいと自分から女王役を譲ったものの、どこか本気になれないえり子の気持ちに迫る。</li> <li>・劇はみんなで作り上げるものだとはわかって</li> </ul>

<p>ふかめる</p> <p>32分</p>	<p>○えり子は、文男やみんなの様子を見てどんなことを考えたのだろう。</p> <p>◎「もう少しブルーでかげを付けようかな」と言ったえり子は、今どんな気持ちだろう。</p> <p>○みんなで1つのものを作り上げるとき、大事なことは何だろう。</p>	<p>るものだとわかっているが、やる気が出ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きではない衣装係を引き受けて、なぜ一生懸命やれるのだろう。</li> <li>・劇をよりよいものにするために文男は放課後も朝も頑張っているのだなあ。</li> <li>・めぐみも役以外のところで進んで音楽の仕事をしている。</li> <li>・みんなを驚かせるような森の絵を描くぞ。</li> <li>・私も自分の係に精一杯取り組んでみよう。</li> <li>・劇を成功させるには、みんながそれぞれのところで頑張らなくてはならない。</li> <li>・納得がいかない仕事であっても自分の役割を一生懸命果たすこと。</li> <li>・みんな(集団)のために、より良いものを作ろうとすること。</li> </ul>	<p>いても、それに気持ちがついてこないことに共感させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「誰かがやらないと劇にならない」と言った文男の言葉について考えさせる。</li> <li>・周りのみんなが、それぞれ努力していたことに気づき、えり子の気持ちに変化し始めたことをおさえる。</li> <li>・文男にそろそろ完成だねと言われたのにまた描こうとしているえり子が、前向きな気持ちになってきたことを捉えさせる。</li> </ul> <div data-bbox="1062 1039 1426 1279" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の考えを道徳ノートにまとめ、グループで話し合いを行い交流する。その後、全体で考えを出し合い、深め合う。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・価値について、意見を交流し合う形でまとめる。</li> </ul>
<p>みつめる</p> <p>10分</p>	<p>3 道徳的価値の内面的自覚を深める。</p> <p>○集団のために頑張ったことや、これから自分の生活に生かせそうなことを書いてみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間に委員会の仕事を頑張っている。</li> <li>・学習発表会の役は希望したものではなかったが、劇を成功させるために精一杯演じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習について振り返り、自分の経験を入れながらまとめさせる。</li> </ul>
<p>ひろげる</p> <p>1分</p>	<p>4 今後の実践につなぐ。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・数名の児童に発表させ、今後の実践への意欲を持たせる。</li> </ul>

(3) 評価の視点

○登場人物の気持ちについて多面的・多角的に話し合い、集団のために自分の役割を果たすことの

大切さについて深く考えていたか。

○集団の中で自分の役割を自覚し、集団生活を充実させようと行動することの大切さについて、自分との関わりで考えていたか。

(4) 板書計画

11 / 25 (木) 森の絵



集団で何かを作り上げるとき  
大事なことは何だろう。

絵筆を持つ手に力が入らない

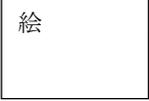
もう少しかけをつけようかな

- めぐみがどどんうまくなる。  
くやしい。
- 女王役になりたかった。  
今の役は気に入らない。
- こんな目立たない仕事、やりた  
くない。
- 劇はみんなで作り上げる  
ものってわかっているのに。

みんながんばって  
いるんだ

- みんながおどろくような絵をかいてや  
るぞ。
- 引き受けた仕事を最後までがんばらな  
くては
- みんなで協力して劇を成功させたい。
- いつまでも後ろ向きではいられない。
- だれかがやらないとげきにならない  
ということがわかってきた。

- 自分に与えられた役割や仕  
事を果たすことが大事。
- 希望しないことでもみんな  
のためにやらなければな  
らないことがある。
- 前向きに取り組んだ方が気  
持ちよく活動ができる。



文男  
めぐみ・修